

コンゴ民主共和国東部におけるエボラ出血熱の流行に対する我が国の国際緊急援助 (2019年7月以降)

資料2-2
2020年2月
外務省 国際協力局
緊急・人道支援課

1. 国際緊急援助隊・感染症対策チームの派遣

- 2019年8月10日, 感染症専門家, 外務省及びJICA職員から成る調査チームをコンゴ民主共和国に向けて派遣。
- 同年8月19日, 同国政府の要請を受け, 現地で活動中の調査チーム(7名)を国際緊急援助隊・感染症対策チーム1次隊としての活動に従事させることを決定。また同23日に2次隊(13名)を現地に派遣, 同年9月9日までに帰国。
- 活動地点: 首都キンシャサ及び同国チョポ州(キサンガニ市を拠点)
- 活動内容:
 - (1) チョポ州の安全な診療とエボラ出血熱サーベイランス体制の強化(感染防護具(PPE)の着脱方法や非接触型体温計の使用法, 手指衛生の徹底等)
 - (2) チョポ州における検疫強化(研修, チェックポイント環境の整備等)
 - (3) キンシャサにおけるエボラ出血熱のサーベイランス・検疫・診断能力の強化
- 活動を通じて, 120名(チョポ州60名, キンシャサ60名)の政府関係者及び保健・医療従事者等に対する研修を実施。また, 交通量の多いマドゥラ・チェックポイントに検疫所を設置(テント, 机, 椅子等機材も供与)。



検疫所開設準備

2. 緊急援助物資の供与

- 同年7月29日, 先方政府からの要請を受け, JICAを通じ, 緊急援助物資(感染症の個人用防護具等)を供与することを決定。
- 同年9月2日, 先方政府への引渡し式を実施。

3. 緊急無償資金協力の実施

- 同年8月22日, 同国政府に対し5億5000万円の緊急無償資金協力の実施を決定。検疫, 治療, 検査診断, 感染症特定, 接触者追跡等の分野における支援を実施中(サーモグラフィカメラ, 迅速診断キット, 防護服等を供与)。



防護服(PPE)着脱指導



手指衛生実習の様子

写真提供: JICA